

新しいまちづくりについて皆さんと一緒に考えます! ～島原と平戸で「県政タウンミーティング」を開催～

県では、県民の皆さんに県の施策への理解を深めていただくとともに、皆さんのご意見を県の施策に反映させるための対話の場として、県内各地で「県政タウンミーティング」を開催しています。

今回は、島原市と平戸市で開催したタウンミーティングについてお伝えします。

島原半島の新3市が 一体となったまちづくり

(平成17年4月13日 島原市)

金子知事をはじめ、吉岡島原市長、松浦愛野町長、元山加津佐町長、長崎大学の山口純哉助教授が登壇し、会場を埋めた約1,350名の住民の皆さんと、合併後のまちづくりについて意見を交換しました。

島原半島では、今年10月に「雲仙市」が、来年1月に新「島原市」が、さらに3月には「南島原市」が誕生します。

金子知事は、「合併後しばらくは厳しい時期が続くが、5年先、10年先は必ずよくなる。そのために県も積極的に支援する。住民の皆さんも今まで以上に知恵を出して取り組んでほしい。」とあいさつ。吉岡市長、松浦町長、元山町長からは「基幹産業である農林水産業の振興が重要。そのためには他産業との連携を図り、新3市がスクラムを組

み行動する必要がある。」などの話がありました。

また、住民の皆さんからは、交流人口の拡大、新市の財政状況、農水産業の振興策などに関する提案や質問が相次ぎました。



地域の発想によるまちづくり

(平成17年4月26日 平戸市)

平戸市、生月町、田平町、大島村が合併して10月に誕生する新しい平戸市のまちづくりをテーマに開催しました。

金子知事、白濱平戸市長、森生月町長、山崎田平町長、小濱大島村長、そして長崎国際大学の片岡

力教授が登壇し、参加された約1,600名の住民の皆さんと活発な意見交換が行われました。

金子知事は、「合併後は、これまで以上に住民の皆さんと行政が共通の意識を持ち、協力することが必要。そのためにトップは住民との対話を大切にしてほしい。地域の主体的な取り組みには、県として積極的に支援していく。」と話し、各首長からは、行政への住民参加の促進、農林水産業と連携した観光振興、少子高齢化対策などについての話がありました。

また、住民の皆さんからは「小規模の路線バスを導入するなど、交通体系を整えてほしい。」「平戸を旅の経済特区にしてはどうか。」など、たくさんの意見や提案がありました。



これからも皆さんと一緒に まちづくりを考えます

県政タウンミーティングは、今後も県内各地区で開催を予定しています。

皆さんからのアイデアやご意見を今後のまちづくりの参考とし、県政にも反映していきたいと考えています。ぜひご参加ください。

